

島根県看護連盟だより

TWO HEART

ツウハート

2020/1/1

第52号



INDEX

「宍道湖のしじみ漁」

- 島根県看護連盟会長挨拶 ……………2
- 島根県看護連盟会員入会案内 ……2
- 日本看護連盟会長挨拶 ……………3
- 島根県看護協会会長挨拶 ……………3
- あべ俊子衆議院議員挨拶 ……………4
- たかがい恵美子参議院議員挨拶 ……4
- 石田まさひろ参議院議員挨拶 ……5
- 木村やよい衆議院議員挨拶 ……5
- 石田まさひろ参議院議員 来県報告 …6
- 新人研修報告 ……………6
- 第2回リーダー研修報告 ……………6
- 看護管理者・教育者研修報告 ……7
- 第1回青年部
中国・四国ブロック会議報告 ……7
- ポリナビワークショップ in 島根報告 …7
- 支部研修会報告 ……………8
- 診療・介護報酬改定 その後 ……9
- 会員施設の紹介 ……………10
- お知らせコーナー ……………10
- 編集後記 ……………10

R. 2. 1. 1
現在会員数
2,543名
賛助会員数
184名



島根県看護連盟
ホームページ

発行：島根県看護連盟

発行責任者：会長 川合政恵

〒690-0049 松江市袖師町7-11 看護研修センター内
TEL(0852) 27- 6361・FAX(0852) 27- 6417
E-mail: shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp

新年のご挨拶



島根県看護連盟 会長 川合 政 恵

令和2年、新しい十二支のサイクルがスタートする「子年」にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の第25回参議院議員選挙では石田まさひろ参議院議員が勝利を勝ち取り看護の議席を堅守できた大変喜ばしい年となりました。会員の皆様方がこれまで培われた経験と知恵を総動員いただき得られた結果であり、改めて連盟活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

日本看護連盟は、本年6月5日、創立60周年記念事業を開催することを予告しております。母体である日本看護協会が看護連盟を創設して以来60年、看護連盟は組織代表を国政に送り続け、数々の法令・政策の制定や改正、労働条件・看護教育の改善等が積み上げられてきました。先輩看護職方の政治的パワーと努力で、今日が迎えられることを記念事業に合わせ、会員の皆様と喜びたいと思います。

日本看護協会は、令和2年度の重点政策として看護基礎教育改革の推進、地域包括ケアにおける看護提供体制の構築など5つ重点政策を柱に、ナースプラクティショナー制度の創設、働き方改革を進めるタスクシフト・シェアリングなどの事業に取り組むことを明らかにしています。地域包括ケアシステムの構築が進められ中、看護職への役割期待がますます高まっています、看護協会が掲げるこの5つの重点政策・事業の実現を目指して、4名の看護職代表国会議員を支援し、政治的に活動していくことが看護連盟の役割において求められています。

連盟活動の基盤となるのは組織の力、会員の力です。看護連盟会員数は看護職の政治参加意識を示すバロメーターであるといえます。看護の発展、看護職の存在価値を高める看護政策の実現を目指して、島根県看護連盟会員の皆様には、今後とも積極的な参加をお願いいたします。看護職の期待に応えていける連盟活動を推進するためには、組織基盤の強化が何より重要になります。「子孫繁栄」「拡大」をもたらすとされる「子年」にあやかり、会員増加に向けて一人でも多くの方に会員入会をいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

2020年が皆様にとって幸せな年であることをお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

日本看護協会と日本看護連盟は、2020年までの2年間、「Nursing now」キャンペーンに取り組みます。

「Nursing now」とは、ナイチンゲールの生誕200年となる2020年に向け、看護職がもつ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題に積極的に取り組み、人々の健康の向上に貢献するために行動する世界的なキャンペーンです。英国の議員連盟が活動をスタートさせ、WHO（世界保健機構）とICN（国際看護師協会）が賛同して、活動は世界的に広がっています。



看護連盟会員 募集中

あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護と国民の健康福祉の問題解決を推進しています。

正会員 年会費 9,000円 日本看護連盟会費 5,000円、県連盟会費 4,000円

特別会員 年会費 9,000円 正会員の経験を有し未就業で看護協会会員でない方

賛助会員 年会費 1,000円 看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます

学生会員 年会費 無料 就学している看護学生の方

お問い合わせ 事務局 TEL (0852) 27-6361 FAX (0852) 27-6417 E-mail: shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

日本看護連盟 会長 大島 敏子



謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年は、全国各地にもたらされた想定外の台風や大雨に驚き、いまだ生活再建が整わない方がいらっしゃることも心を痛めております。加えて、自ら被災しながらも懸命に看護を続けてくださった看護職や関係者の皆様に、心よりの感謝を申し上げます。

また、第25回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が、二期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。医療職の中でトップ得票であったことは、ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、それでも会員数だけの得票が得られないことに戸惑い、力不足を覚えています。看護連盟がいかに看護界を牽引し、また、日本の医療を支えてきたか、もっともっと連盟の誕生から現在までを、会員一人ひとりが自分の言葉で「語り」「伝え」「拡げる」必要があります。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立60周年で還暦を迎えました。還暦は、干支が一巡して、誕生年の干支に戻ることです。何と、セカンドステージに立ったのです。私たちの先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24時間365日、常にベッドサイドで病める人々と共にありました。患者さんが、自らの病を克服し、自らの生活を健康に営むための知識や知恵を持ち、生き続けることのサポートを確実にしていきましょう。看護実践能力を確固たるものにし、働き方改革を背景に働きやすい職場を共につくって参りましょう。

今年は、26回参議院選挙の候補者を決めるという重要な年であるとともに、活動のよりどころとなるスローガンを、会員の皆様に公募し決めていただきました。新たな気持ちで臨床と看護政策を結ぶ情報発信にも力を入れていきます。

子年は、新しい生命力が想像される文字をあらわし「子孫繁栄」をもたらすそうです。会員を増やし、人生100年時代を迎えるなか看護連盟は、看護協会と共に今後とも国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築しつつ、看護職の地位向上をめざして、さらなる政治参加に邁進して参りましょう。

島根県看護協会 会長 秦 美恵子



あけましておめでとうございます。島根県看護連盟会員の皆さまには、新年を健やかに迎えることとお喜び申し上げます。日頃は、島根県看護協会事業につきまして、温かいご支援ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

島根県看護協会は今年で創立40周年の節目を迎えます。看護を取り巻く環境が大きく変わる中、職能団体としての歩みを振り返りつつ、これからの看護のありようを創造し、皆さまと共に新たな歩みを進めて参りたいと思います。

2020年はナイチンゲール生誕200年となる節目の年でもあります。2020年に向けて、看護職への関心を深め、地位を向上することにより、人々の健康の向上に貢献することを目的に世界中で「Nursing Now」キャンペーンが展開されています。看護協会と看護連盟はNursing Nowの趣旨に賛同し、2020年末まで「看護の力で健康な社会を！」をテーマにNursing Nowキャンペーンに取り組んでいます。島根県におきましても重点事業である①地域包括ケアにおける看護提供体制の構築、②看護職の働き方改革の推進、③看護職の役割拡大の推進と人材育成、④看護基礎教育制度改革の推進、について看護協会と看護連盟は役割分担しながら取り組んでいます。今年は更に具体的な取り組みとして進展させていきたいと考えています。

看護協会は政策提言活動、看護連盟は看護協会の提言する看護政策実現のために政策決定の場に代表を送り出し、代表議員が看護問題の解決を政策決定の場で進展させるための支援を行うという、それぞれの役割分担の意義をきちんと理解し、普及していかなければなりません。「看護は一つ」の旗のもと、看護協会・看護連盟の組織強化に努めて参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のご挨拶



衆議院議員 あべ 俊子

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

新年の清々しい空気に、国会議員として初当選した頃の決意が熱く思い起こされます。

昨年自由民主党新人事では国会対策副委員長を拝命いたしました。法案の可決や成立にむけて与野党間の調整を行う立場です。平日、毎朝実施される国会対策正副打ち合わせ会では、各省庁の担当者から省内の状況、委員会での審議状況が報告されます。それぞれの所管が抱える法案の審議状況に対して発言する重責を伴います。診療報酬改定など、社会保障改革の節目となる年に、縦横無尽に活動できる役職を頂けたのも、貴連盟のご支援あってのことと、感謝申し上げます。

医療を取り巻く環境の変化に応じて、看護に求められるニーズも変化しております。医師からのタスクシフトは、看護師の役割と業務拡大への契機と言えますが、忘れてはならないのは、看護職自らが『日本の医療を底支えするのは看護職である』という決意を固めることです。患者とその家族の医療と介護、福祉までを担うという覚悟を、看護職全員が、一層固いものにするときではないでしょうか。看護職自身の働き方についても変化を求められています。看護の世界も、他の分野同様に、AI や IoT を活用したデジタル化が進んでおりますが、患者とその家族に温もりを届けるといふ、看護職の役割を忘れることはできません。

変革を起こすとき、法律や制度が壁となることが少なくありません。皆さまが現場で困っていること、日々の業務の中で“こうできればいいのに”と思うことが、職場環境改善の鍵であります。今年も、患者を中心とする多様な看護のあり方を常に考え、看護に誇りを持てる職場環境の整備に尽力して参りますので、忌憚ないご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

皆さまのご健勝と貴連盟のご発展を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員 たかがい 恵美子

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。島根県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平成から令和への御代がわりを経て今夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとあって、日本はいま世界で最も注目される国となっています。国政においては、国民に寄り添う豊かな成熟社会を実現するための2040年に向けた新たな社会保障制度設計の議論が進められています。これからの看護職が地域の様々な場所で個性と専門性を活かして活躍できるよう制度整備することや、貴重な看護人材を育てる基礎教育の充実と一人ひとりの生涯を通じたキャリア形成支援の仕組みを整えていくことなど、私たちが取り組むべき政策課題は無限にあります。看護の可能性のさらなる拡がり信じ、各々の笑顔が輝く未来に向けて、お互い支え合い力を合わせてがんばりましょう。皆様のご健勝とご繁栄を心から願い、幸多き一年となることを祈念申し上げ、ご挨拶といたします。本年もよろしくお願いいたします。



参議院議員 石田 まさひろ

島根県看護連盟のみなさま、あけましておめでとうございます。今年は夏のオリンピックが56年ぶりに日本にやってくる大きな年。2020年が、すばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、皆様のお力を頂き二期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は17日間で47都道府県全てを回らせていただき、皆様から温かな声援を頂戴しました。お一人お一人の力が一つになり私に新たな使命が与えられたのだと実感しております。一票一票の重みをしっかり感じながら、自らの行動で皆様の期待に応えていく所存です。

昨年9月には、参議院において二度目の厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。他の党派（野党）との調整を行う、緊張感の高い役割を再び務めることができるのは、身の引き締まる思いです。運営が最も難しい委員会の一つとされる厚生労働委員会での議論をしっかりと前に進めていけるよう、鋭意、力を尽くしてまいります。

また、自民党においては副幹事長という役割も拝命しました。汗をかく地味な仕事である一方、党の運営には欠かせないポジションです。与えられた役割をしっかりと努めて参ります。

そして二期目当選直後から週末を中心に再び全国を飛び回っております。皆様からの温かいお言葉、そして「現場の声」は私の活動の原点です。今現場で起きている問題や課題をお聞かせください。その声を国政に届け、看護職が「今日も良い看護ができた！」と実感できる環境づくりのためにこの六年間、再び尽力してまいります。

看護職の皆様、現場の皆様と共に手を携え活動してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員 木村 やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新たな元号・令和の時代が始まり、9月の第4次安倍第2次改造内閣では総務大臣政務官を拝命した、忘れられない年となりました。

これまでの厚生労働行政とは違う分野での就任ですが、人と人を「つなげる」という点は、看護の仕事も同様です。副大臣、政務官ともに高市早苗大臣を支え、総務行政に力を尽くしてまいります。

私の総務省での担当は、情報通信、放送行政、郵政行政。人と人を、人とモノを、電波や光ケーブルや様々な手段を使って「つなげる」仕事です。

人口減少社会、高齢社会の中でICT（情報通信技術）が、これからの医療・介護・健康、地域活性化、観光、農業、防災、資源確保などの分野において果たす役割は大きいです。ICTの利活用を進め、地域経済の活性化、社会保障の充実、大規模災害対策に努めてまいります。

放送は、日常生活に密接な存在であり、気候変動の影響により各地で自然災害の被害が深刻となる中、正しい情報をより確実に伝えることが重要です。

郵便局は、地域に根差した身近な存在。市民の信頼と安心を守る重要な根拠です。新たな役割も期待される中、いかに地域活性化につなげていくかが課題です。

情報弱者とされる高齢者や障害のある方たちが取り残されることなく、情報を活用し、活躍できる、そんな社会の実現に努めるのが私の役割だと思っています。

総務省ホームページ、動画チャンネルで日々の活動をご覧いただけます。

これからも女性、母親、看護職の視点を生かし、「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、皆さまのご期待と信頼に応えてまいります。

何よりも、光の当たらぬところにあたたかな光を当てる政治を忘れずに、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。

本年も、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

石田まさひろ参議院議員 来県報告



出雲市立総合医療センター



島根県立中央病院



松江赤十字病院

9月20日、石田まさひろ参議院議員が来県されました。

出雲、松江の5病院と看護協会を訪問し、当選の喜びを分かち合いました。

石田議員はこれからの議員活動への意欲を語られました。



JCHO 玉造病院



島根県看護協会



松江市立病院



研修会 報告

新人研修

今年度は西部の方が参加しやすいように、会場を東部と西部2か所に分けて研修会を企画しました。東部は9月1日(日)パルメイト出雲に74名、西部は9月7日(土)済生会江津総合病院に25名、計99名の参加がありました。

島根県看護協会長と島根県看護連盟会長が職能団体の活動について講義、青年部員より活動報告の後、「看護職能団体の組織・活動について考える」をテーマにラベルワークを活用したグループワークを行いました。

参加者からは「協会と連盟の役割について理解ができ、青年部の活動報告も分かりやすかった。ラベルワークは、一人ひとりの意見をラベルに表し新たな気づきに繋がった」など意見がありました。



第2回リーダー研修

第25回参議院議員選挙を振り返り、今後の連盟活動を考える目的でリーダー研修会を行ないました。東部は9月29日(日)パルメイト出雲に88名、西部は10月5日(土)益田地域医療センター医師会病院に46名、計134名の参加がありました。

島根県看護連盟幹事長から選挙結果の報告、続いて各支部長から選挙の取り組み内容と結果について報告がありました。

「看護の組織力を高めるためには」をテーマでラベルワークを活用したグループワークでは、組織力を広げる方策やSNSの利用方法等活発な意見交換があり、今後の連盟活動の糧になりました。



看護管理者・教育者研修

●日時：2019年11月2日(土) 13:00～16:30

●場所：パルメイト出雲



日本看護連盟
大島敏子 新会長

日本看護連盟大島敏子新会長を講師に迎え「看護と政策」について学ぶ研修会を開催しました。大島会長から「看護管理者の役割は、看護現場の問題を政策や制度に活かしていく必要がある。そのためには、社会の仕組みや法律についての理解を深め連盟活動についての意義を職員に語り、目の前にある課題を共に解決していく道を示すことにある」と話されました。

アンケートには「若い世代に連盟活動をしっかり伝えたい」「ハンドブックを読み直し看護連盟活動や使命をスタッフに語れる自分になる」と看護管理者としての姿勢をもち行動化していくことなどの意見がありました。

第1回 青年部中国・四国ブロック会議に参加して

青年部委員（島根県立中央病院） 吉川 優



岡山県で開催された青年部中国・四国ブロック会議に参加しました。各県の青年部の活動報告やグループワークなどを行い、効果的だった活動、熱心に取り組んでいることや困っていることなどを話し合い、学ぶことの多い会議になりました。

まず共通の悩みとして看護連盟や青年部の認知度が低いことがありました。看護連盟の活動を政治と同一視する人が多く、自分たちの仕事との直接的な関わりが明確に認識できないことが理由として挙げられていました。そんな中、他県の活動でとても驚いたのは学生の連盟への参加でした。私自身学生するとき政治への興味が薄かったので、学生の頃から政治について考えることによって、選挙への理解や看護職員の働く環境改善へつながると感じました。島根県では学生の連盟への参加はできていませんが、今後取り組んでいけたら良いと思いました。

次に青年部で行っているポリナビワークショップについてですが、休日を返上して参加してもらっているため参加したいと思ってもらえる研修が必要であると感じました。他県ではクイズや看護グッズの体験、子供連れでも参加できる内容にしたり、講師に話題の人や畑違いの職業の人を招いたり、キャリアアップに焦点を当てるなどの工夫をしていました。島根県では現在政治に興味を持ってもらうことを目標にポリナビを開催していますが、他県の活動内容を参考により良いポリナビにしていきたいと思いました。

ブロック会議で学んだことを生かし、また看護連盟への理解を深め、今後の青年部としての活動につなげていきたいと感じました。

ポリナビワークショップ in 島根を開催して

青年部委員（雲南市立病院） 齋藤 裕介



「第11回ポリナビワークショップ in 島根—私たちから繋ぐ看護と政治—」を10月26日(土)にニューウェルシティ出雲で開催しました。

講師に石田まさひろ参議院議員秘書の東 柊 氏を迎え「アナウンサーから政治秘書への転職」と題して講演いただきました。アナウンサー時代の裏話から石田まさひろ議員の秘書になった経緯までとても興味深い

講演で、参加者は聞き入っていました。堅苦しさのない伝え方で分かりやすく、政治に関心を持つ大切さを学びました。

レクリエーションでは看護連盟や政治に関することを○×形式で問う、クイズ大会を行いました。予想していたより正解するグループが多く驚きました。

グループワークでは「看護師として政治家に臨むこと」をテーマに話し合いを行いました。人員不足による看護業務以外の仕事の増加、職場環境改善などの問題が多く上がりました。他職種連携や業務分担、処遇改善などの要望も聞かれました。若い世代の参加者が多かったのですが皆さん看護の未来について真剣に考えており、より良い看護を提供したいという気持ちが伝わってきました。看護連盟の活動によってより良い環境を作り、看護の未来を明るくしたいものです。

今回のポリナビに参加したことで他施設の仲間とも知り合う機会となり、交流することができて『縁』を深めることができたのではないかと思います。

今後も看護連盟の活動にご理解とご協力をいただけるよう青年部も一層努力してまいります。



石田まさひろ議員秘書
東 柊 氏



松江OB支部研修・交流会

松江OB支部長 金 築 初 枝



11月23日(土)にホテル白鳥で、松江OB支部研修・交流会を開催し会員・賛助会員の17名の参加がありました。

今回は、島根県看護連盟幹事長より第25回参議院議員選挙結果報告と米田祝子松江市議会議員の活動報告のあとに、園芸店の方から指導を受け「カレイドフレーム」の作製を行いました。

アンケート結果から「選挙結果の成果と今後の課題」を分かりやすく報告され大変良かった」と自分たちの活動の評価を知ることによって次の活動への励みとなったように思えました。また、米田市議の報告を受け、自分たちの情報提供が行政の場にかかされている事が認識できたと感じました。初めての物作り講習(カレイドフレーム作製)は「ポケ防止になった」「リフレッシュできた」「楽しかった」と和気あいあいのうちに研修を終えることができました。また、例年「会員同士の交流会が出来なかった」との意見がありましたが、今年は作業中に交流が持て、意見交換ができたなど満足感が伺えました。

参加者が固定しつつあるのが現状です。今後は若い世代のOBを拡大していく事が課題であると感じます。多くの方が参加しやすいように会員・賛助会員に憩いの場を提供するのも必要だと思いました。



出雲地区三支部合同研修会

出雲OB支部 幹事 磯 田 典 子



11月16日(土)に朱鷺会館において出雲地区三支部合同研修会を開催し、76名の参加がありました。

川合政恵会長より「連盟活動の動き」と題して講演をして頂きました。看護協会とは役割を分担しながら協働して活動していること、その活動の成果(労働条件の改善、法律の制定・改定、看護教育の充実)、最近の制度的環境の変化など分かりやすく説明がありました。そして、看護政策実現のために看護職の代表を国政に送ることの大切さを学びました。参加者からも「政策や連盟のめざすところが理解できた」「看護職として活動について真剣に考えなければいけない」などの意見がありました。



講演の後はブレイクタイムを挟み、花の郷の職員さんの指導で寄せ植えを行いました。日頃の忙しさから解放され、気分転換でき癒された時間を笑顔で過ごすことができました。

大田支部 研修会

看護協会 大田支部 支部長 田 中 成 子



令和元年度の大田支部研修会を10月19日(土)大田市立病院にて行いました。今年度も看護連盟の講演会を同時開催しました。

出席者は54名と少なめでしたが、興味を持って参加して頂きました。

第1部は島根県看護連盟宮本友子幹事長より第25回参議院議員選挙を振り返りご報告いただきました。そして、日頃の連盟活動について、歴史や活動の経緯を知り、看護職からの政策提言活動の大切さなどを学ぶことができました。これを協会員に伝え連盟活動を広めていかなければいけないと思いました。

第2部は災害対策の研修会として「避難所運営ゲーム HUG」を体験し、グループワークで避難所運営について考えました。大田市役所危機管理課の方を講師にお迎えし、災害対策の現状について講義をして頂き、ゲームの進行においてはアドバイスして頂きました。

日頃から災害対策についてイメージして準備しておくことの大切さを学ぶことができました。



「診療報酬*介護報酬の改定」何が変わったか!

平成30年4月から新たな診療報酬・介護報酬の改定がスタートしました。2年近く経ったいま、現場はどのように変わったのでしょうか。

Part.3



「平成30年度 診療報酬改定その後について」

島根県済生会江津総合病院 看護部長 西藤 美恵

平成30年度の診療報酬改定は地域医療構想の推進・地域包括ケアシステム構築に向け、入院基本料の見直し、在宅医療・訪問看護を推進する様々な評価が新設されました。

当院は300床の許可病床を持つケアミックス型の中核病院です。平成30年に大きく外来・病棟を再編し、一般急性期60床、地域包括ケア病棟60床、療養病棟100床の220床の運用に変更しました。

地域包括ケア病棟においては在宅復帰のカウントから老健が外れたことにより、入棟患者の運用見直しや直接入院患者のルートを開拓するなど新たな工夫を継続しています。今後はサブアキュート機能をどこまで強化できるかがポイントだと考えています。

療養病棟は療養1（60床）、療養2（40床）で運用していましたが、改定を機にすべてを療養1に切り替えました。併せて在宅復帰強化加算、褥瘡評価加算算定の仕組みをつくり、療養病棟の質を保证する取り組みも行っています。

外来部門では看護外来を中心にセルフマネジメント支援や指導体制の構築、退院後の在宅訪問等療養支援体制を整備しました。重症化予防に向け新たに3つの加算を申請しました。加算の算定は患者さんに良い医療を提供することの対価です。開業医やケアマネージャー、行政の保健師との連携も含め、地域の中に当院の取り組みが浸透してきたように感じています。今後は提供したケアが真に価値あるものとして、さらに多くの方に認知されるよう取り組んでいきたいと考えています。



診療報酬・介護報酬の改定 訪問看護の視点から考える

島根県看護協会訪問看護ステーションやすらぎ 所長 角 里美

島根県看護協会訪問看護ステーションやすらぎは、訪問看護・居宅支援事業を17名の職員で、医療保険・介護保険合算して月平均100名の利用者さんの在宅療養を支えています。平成30年度診療報酬・介護報酬の同時改定後2年が来ようとしています。日頃より行っている連携や私たちのケアの質が認められ退院時共同指導加算や訪問看護ターミナルケア療養費の報酬が増えました。また難病の利用者様に対して介護職員等と連携した場合に看護・介護職員連携強化加算も新設され顔の見える連携にも加算がつくようになりました。

しかし一方で、今後の課題も多くあると感じます。現場では必要に迫られてすでにケアを実施している訪問看護の動きについて、評価がなされていてもその手段が煩雑で加算が取りにくいものがあるように思います。例えば、訪問看護情報提供療養費3で、主治医に指定訪問看護に係わる情報を提供した場合に算定とありますが、主治医には連絡し指示を受けませんが主治医の診療情報提供と一緒に送ることは困難で結局加算が取りにくくなっているのが現状です。また訪問看護情報提供療養費2の算定では、小学校又は中学校等に入学や転学時等の当該学校に初めて在籍する利用者について月1回限り算定できるとありますが初めて在籍する月以外にも学校の求めに応じて必要時に算定できるのか、わかりにくいと思いました。現場の努力が報酬に反映され、その結果訪問看護ステーションの経営の安定につながるようになることを、今後の改定に期待したいと思っています。



公益社団法人 益田市医師会立
益田地域医療センター医師会病院
「ピンチをチャンスに」



看護部長 齋藤 裕子



昭和61年に医師会病院が開設され、行政や地域のニーズに沿いながら介護老人保健施設、長期療養病床、診療所、リハビリテーションセンター、在宅医療・介護連携研修センター等、節目節目に機能を拡大してまいりました。現在、益田市医師会は5つの事業を運営し、地域医療に貢献できるよう努力しているところです。

この30年余りの歴史の中、病院事業部では、H30年1月より急性期の病床を1単位に減床することになり、初めての縮小でした。しかし高齢化率の上昇により、治療だけでは完結しない現状だからこそ、急性期だけでなく回復期、慢性期や在宅までの幅広い医療・介護・生活支援までを担える機能を当施設は持っています。この強みを最大限に活かすことが必要とされ、担っていきたくと思っています。

他にも令和元年10月より新たに腎臓内科外来を開設、令和2年2月には介護医療院への転換と、新たなチャレンジができるチャンスもできました。この機会も大切に取り組み、また認定看護師や特定行為研修修了看護師等、看護師の役割充実も図りながら、これからも地域の皆様のニーズに沿った医療・介護・福祉の提供を目指し、地域にとって必要な施設、働き続けたい施設になっていけるよう努力し続けていきたいと思います。



※施設のPRの場として活用して頂ければと思います。掲載希望の施設は、島根県看護連盟までご連絡下さい。

Information  to Heart 【研修・行事予定】

月	日	曜日	時間	行 事	内 容	講 師 他	場 所
2	1	土	PM	松江地区3支部合同研修会	①「令和2年診療報酬改定では、どんな看護が注目されているか」 ②「医療リハビリテーションの手法を学び看護ケアに活かす」	①島根県看護連盟 会長 川合政恵氏 ②がん看護専門看護師 吉本 歩氏 (松江市立病院)	ホテル白鳥 朱鷺の間
3	20	金 (祝)	PM	島根県看護協会・島根県看護連盟合同研修会	診療報酬改定について	石田まさひろ参議院議員	看護研修センター
6	5	金	PM	日本看護連盟 通常総会 創立60周年記念式典			東京プリンスホテル
6	27	土	PM	島根県看護連盟 通常総会		特別講演 講師 石田まさひろ参議院議員	パルメイト出雲

睡眠セミナー
無料サービスのご案内

東洋羽毛

良質睡眠でキラキラ輝く私に！

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずですよ —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

 TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社

島根営業所 ☎ 0120-996104 〒690-0055 島根県松江市津田町316-2



編集後記

新年おめでとうございます。令和になってはじめての「睦月」、一年の始まりの月となりました。

昨年に続いて、世界の多くの国の看護職が参加する"Nursing now キャンペーン"に協会・連盟が連携し取り組みます。変化を起こせるようナイチンゲールスピリッツで頑張っていきましょう。

広報委員一同

